

## 地域リハ研修会アンケート集計結果

回答率 82% 56/68 名中

(内訳：医師 1 看護職 26 リハ職 14 相談員 7 その他 12)

1) この研修会を受けたきっかけを教えてください

テーマ(内容)に興味を持った	37名
知人友人にさそわれた	0名
上司に進められた	18名
その他	1名

2) 講演について

大変良かった	45名
まあまあ良かった	11名
悪かった	0名

その他

- ・ 地域連携パスの必要性とデータベース化の共有化を図れば鹿屋市のような地域医療においては大きな効果が望めると思います。共通したツールを作り出す重要性を感じます。
- ・ 米原先生の話はわかりやすかったですし、内容的にも興味深いものでした。鹿児島ではなかなか病院をこえて、1人のPtの連携クリティカルパスはできていないのではと思っていますが...。この大隈地域でもできる方法を見つけたいですね。
- ・ 資料は先生が使用されたパワーポイントの資料が欲しかった。資料の字が小さすぎて読めなかった。
- ・ TPAを使える病院は鹿屋にあるのでしょうか？
- ・ 内容的に診療サイドからの内容・問題提起であり次回は医師会・看護協会等へも広く呼びかけ共有できたらと思う。
- ・ 現在パス委員会でパスを作成中だが、バリエーション、パスに合わないケースも多く悩んでいましたが、脳卒中急性期パスは書き込み式として行っていると聞いて、以前検討していたやり方でいいのではと答えを頂いたように思います。大隈地域ではまず病院同士の連携も不十分だと思いますのでそれも同時に進めていく必要があると思います。医師が地域連携の視点でパスを作って下さっているので良いと思います。その他の職種はDrの診療方針が決まっていることで追加して完成していけると思います。
- ・ 地域連携パスは現在、この地域でも糖尿病について、モデル的に(県の事業として)協議会が始まりました。今回の講義を聞いて今行われようとしている事の意義が再認識できた事とやはり最終的には在宅療養に向けてシステム化されることを期待しています。
- ・ 当院で行っているFIMやパスの導入に大変役立つ内容となりとても参考になりました。
- ・ イメージがつかめて大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 回復期リハでFIMを用いることが分かりました。

以上  
平成 19 年 11 月 28 日